

杏林大学医学部附属病院がんセンター主催

がん看護研修 がん化学療法と看護 研修会のご案内

がん化学療法は新薬の開発や適応拡大により、外来で治療を行う患者は増加し、治療期間は長期化しています。外来通院で治療を行う事は、患者にとって仕事や家庭における役割を果たしながら生活を続けることを可能にする一方、治療に伴う症状などの問題に患者自身が適切に対応することが求められます。そのため、看護師は生活の中で患者が適切に症状に対処しながら QOL を保つ支援を行う必要があります。今回、通院治療を受けながら地域で暮らす患者（生活者）を支えるため、看護の役割の理解に向けた研修を企画しました。皆様の参加をお待ちしております。

テーマ 通院治療を受けながら地域で暮らす患者を支えるための看護
講師 新田 理恵
杏林大学医学部附属病院 がん化学療法看護認定看護師

【日 時】 2017年11月2日（木）18:00～19:30

【会 場】 杏林大学医学部附属病院 外来棟 10階 第1会議室

【申込条件】 がん看護に携わる看護職者

【募集人数】 事前登録制 先着 30名

【参加費】 無料

【申込方法】 専用の申込用紙に必要事項を記載の上、郵送にてお申し込みください。

*下記 HP からダウンロード可

<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/introduction/pdf/20171102mousikomi.pdf>

【申込期限】 2017年10月30日（月）
定員になり次第締め切らせていただきます。
11月1日までに可否についての返信がない場合は担当者までご連絡ください。

【申込先】 〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2
杏林大学医学部附属病院 がんセンター 事務局
*封筒表に「がん看護研修申込」と記載してください

【問い合わせ先】 研修担当 がん看護専門看護師 坂元敦子
Tel 0422-47-5511 内線 2030（がん相談支援センター）